

外来がん看護体制の充実に向けて －新たな仕組みづくり－

がん治療が入院から外来へと移行する傾向が強まり、外来での療養支援の必要性も高まるなか、外来看護体制の充実の必要性とその方法の実際例を共有し、今後の診療報酬改定にむけた動きへつなげていくことをめざして研修会を開催いたします。ぜひご参加ください。

日 時 : 平成 29 年 2 月 5 日 (日) 13:55~15:25 (13:25 開場)

会 場 : 高知県立大学 永国寺キャンパス A105 (第 8 会場)

プログラム :

13 : 55 本研修会の趣旨説明

司会 : 国立がん研究センター中央病院 森 文子氏

14 : 00 講演 ● 外来看護体制充実の必要性とその検討について

神奈川県立保健福祉大学 渡邊 眞理氏

プレゼンテーション (外来看護体制の充実に関する取り組み例)

● 初診時のスクリーニングの取り組みについて

看護師による面接の聞き取りから要支援者をスクリーニングし、支援につなげる仕組み

静岡県立静岡がんセンター 遠藤 久美氏

● 療養支援の一元化の取り組みについて

入院前から退院後の生活を見据えた療養支援の一元化の取り組み

北里大学病院 坂下智珠子氏

質疑応答、会場とディスカッション

15 : 20 まとめ

15 : 25 終了